

一般社団法人日本解剖学会 2021 (令和3) 年度第5回常務理事会議事録

日時：2021(令和3)年9月12日(日) 13:00～16:00

場所：オンライン開催

出席者：渡辺 雅彦(理事長)、木山 博資、寺田 純雄、仲嶋 一範、福田 孝一(以上、常務理事)、市村浩一郎、大野 伸彦、竹林 浩秀(以上、常任幹事)、穴戸 基行、中村 聡(以上、口腔保健協会)

I. 会議記録の確認

以下の会議記録が確認された。

- (1) 2021(令和3) 年度第2回常務理事会(令和3年6月26日開催) 議事録(案)
- (2) 2021(令和3) 年度第7回理事会(令和3年8月30日～9月5日開催) 議事録(案)

II. 報告事項

1. 庶務報告

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の報告があった。

・令和 3年 6月分

入会者 正会員 13名

退会者 正会員 9名、名誉会員 1名、永年会員 2名

・令和 3年 7月分

入会者 正会員 10名、学生 4名

退会者 正会員 3名、学生 1名、名誉会員 1名、永年会員 1名

・令和 3年 8月分

入会者 正会員 7名、学生 1名

退会者 正会員 2名

・逝去会員 4名

松尾 信一氏(信州大学・名誉教授/正会員)平成30年10月6日逝去(満93歳)

市川 操氏(横浜市立大学・名誉教授/名誉会員)令和2年6月30日逝去(満92歳)

中根 文雄氏(北海道大学・名誉教授/名誉会員)令和2年11月22日逝去(満93歳)

山下 廣氏(慈恵医科大学・名誉教授/元・監事)令和3年7月8日逝去(満84歳)

・新規就任教授 3名

高橋 宗春先生(東京医大・組織・神経解剖学・教授 令和3年7月1日就任)

武内 章英先生(愛媛大・医・解剖学・組織学・教授 令和3年6月1日就任)

大崎 雄樹先生(札幌医大・解剖1・教授 令和3年9月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、学会事務局で保管などの対応を行っていることが報告された。

(3) 男女共同参画学協会連絡会報告

資料に基づき、オンラインシンポジウムの案内、ならびにダイバーシティ推進委員会(名称変更)からの議事録、活動

報告、来年の解剖学会におけるシンポジウムの予定など、報告があった。

(4) ダイバーシティ推進委員会企画イベントに関するアンケートについて
資料に基づき、来年の学会でのシンポジウムのために実地予定のアンケートについての報告があった。

(5) 2021(令和3)年度支部学術集会開催状況について
Web開催が多い状況など、資料に基づいて報告があった。

(6) 2021(令和3)年度推薦による代議員申請状況について
資料に基づき、3名の申請があり、12月の理事会で審議される旨、報告があった。

(7) その他

死体解剖資格を申請や取得に関する問題点について理事に相談があったことが報告され、庶務担当常務理事が対応することとなった。

来年度以降のオンラインの支部学術集会の再開に向けた取り組みについて、状況と推移も考慮しつつ来年3月の総会の開催時期を目処として検討していくこととした。

2. 編集報告

(1) 解剖学雑誌及びA S I 刊行報告及び刊行予定

資料に基づき、ASI 96巻4号、解剖学雑誌 96巻の刊行状況、およびサージカルトレーニングに関するASI特集号の発刊に向けた編集委員会の議事要録と進行状況について、報告があった。

(2) ASIにおける2020年インパクトファクターについて

資料に基づき、上昇傾向であることが報告された。

(3) ASI作成費の消費税課税について

資料に基づき、Springerから冊子体提供分について、消費税分を請求する旨の連絡があったことが報告された。契約書に付加価値税に対する対応については記載があったが、次期契約時に明文化することとし、支払いに応じることとなった。

(4) ASIにおけるLicense to Publish (LTP) への移行について

資料に基づき、著作権に関する表記が変更になる旨、報告があった。

(5) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告

(1) 2021(令和3)年度認定一級技術者資格試験について

今年度は申請者なしであったことが報告された。

(2) 認定二級技術者資格審査結果について

資料に基づき、認定解剖組織技術者資格審査委員会における審査の結果、1名の受験者が合格と判定されたことが報告された。

(3) 2021(令和3)年度奨励賞・認定解剖組織技術者功労賞申請状況について
資料に基づき、現在募集中であることが報告された。

(4) 2022(令和4)年度第127回総会・全国学術集会の準備状況について
資料に基づき、第127回総会・全国学術集会（大阪）はハイブリッド開催を目指していることが報告された。現在までにプログラム委員会で決定された特別講演、教育講演、企画シンポジウムなどについて報告された。

(5) 2025(令和7)年度第130回総会・全国学術集会開催校について
資料に基づき、北海道大学から開催希望の届出があったことが報告された。また、本大会は、生理学会、薬理学会と合同で開催される予定であることが確認された。

(6) 日本医学会報告・日本医学会連合報告
資料に基づき、役員選挙結果、新型コロナウイルス感染症による他疾患等への影響調査研究への協力を行ったこと、日本医学会創立120周年記念事誌への寄稿を行ったこと、優性遺伝と劣性遺伝の推奨用語が決定され、これが解剖学会の持ち回り理事会で承認されたことが報告された。

(7) 生物科学学会連合報告
資料に基づき、第31回国際生物学オリンピック2020長崎大会の収支決算、生物科学学会連合加盟団体パンフレット原稿について報告がなされた。

(8) 日本脳科学関連学会連合報告
資料に基づき、第20回脳科連評議委員会の運営委員選挙結果、産学連携会員等につき報告がなされた。解剖学会側の対応事項として、事務局外部委託に伴う年会費増額の要請、ウェブページの「豆知識」（リレー記事）執筆の依頼（対応済）について報告があった。

(9) 若手研究者の会について
資料に基づき若手研究者の会の企画予定についての報告があった。会員間交流のための掲示板などの進捗については、現状を確認することとなった。

(10) 国際渉外関係について（KAA、APICA、IFAA等）
資料に基づき、以下のことが報告された。

第127回大会のJAA-KAA合同シンポジウムにおける日本側の発表者3名が決定した。

第10回APICAは、オーストラリア・ニュージーランドによる合同開催が予定されているが、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの影響で、その後の進展がない。

第20回IFAAは、2021年8月にイスタンブールにおける大会が予定されていたが、2022年に延期された。ウェビナー（1ST FIPAR WEBINAR, 2021.9.10.）の案内が届いたので会員に流した。

(11) その他
特になし。

4. 会計報告

(1) 2021(令和3)年度中間決算書について

資料に基づき、8月次決算報告がなされた。収入では終身会費の受取会費が例年に比べて多いこと、支出では昨年引き続き海外交流関係費や交通費などが少ないことが報告された。

(2) 第126回総会・全国学術集会収支・開催報告

木山会頭より、近く確定される予定であることが口頭にて報告された。

(3) その他

特になし。

5. 理事長報告

(1) Tic Tok上における献体についての動画掲載対応について

資料に基づき、献体についての動画掲載への対応が報告された。

篤志解剖全国連合会から、献体に関する不適切な動画をインターネット上に掲載している医師についての情報提供があった。該当者と考えられる人物について出身大学の教員による確認を経て勤務先へ対応を依頼し、動画がインターネットから取り下げとなったことが報告された。

6. その他

特になし。

Ⅲ. 審議事項

1. 新入会員の承認について（庶務）

資料に基づき、令和3年6月1日から8月31日までに入会申請があった一般会員30名、学生会員5名について審議の結果、全員の新規入会が承認された。

2. 教授就任による代議員について（庶務）

資料に基づき、教授就任に伴う以下の2名の代議員申請者について審議の結果、代議員の就任が承認された。

高橋 宗春 先生（東京医大・組織・神経解剖学・教授 令和3年7月1日就任）

武内 章英 先生（愛媛大・医・解剖学・組織学・教授 令和3年6月1日就任）

3. 解剖実習室のホルマリン濃度測定について（庶務）

資料に基づき、解剖体委員会による「解剖準備室ならびに解剖実習室のホルムアルデヒド作業環境測定に関するアンケート調査」の実施について審議され、実施が承認された。

4. サージカルトレーニングへの対応について（庶務）

資料に基づき、解剖体委員会による「献体によるサージカルトレーニングに関するアンケート調査」の実施について審議され、実施が承認された。

5. 解剖体を用いた研究ガイドライン改訂について（庶務）

資料に基づき、改訂作業の途中経過について審議され、改訂の方向性が承認された。

6. 解剖学雑誌の充実について（編集）

資料に基づき、令和4年度より年2号を発刊することが審議され、次回の理事会に諮ることが承認された。

7. 日本脳科学関連学会連合年会費改定について（企画渉外）

資料に基づき、脳科連から事務局移転に伴い会費を3万円から6万円に変更する旨の申し入れがあったことが報告された。審議の結果、次年度以降の会費の支払いについて、理事会（メール会議）に諮ることが承認された。

8. 基本財産運用方針の確認（会計）

資料に基づき、基本財産の運用方法が審議され、承認された。

9. 会員名簿作成について（事務局）

資料に基づき、進捗状況が報告され、作成の方向性が承認された。また、名簿表紙（案）が審議され、承認された。

10. その他：次回会務の確認

次回常務理事会・理事会の日程は下記のとおりとなった。

令和3年12月4日（土）（場所：AP東京八重洲）

常務理事会（10:30－13:30）、理事会（14:00－17:00）